

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 24-005							
PDCA	事務事業名	ふるさと景観づくり推進事業	部課等名	建設部 都市計画課 都市計画担当	担当 林 内線等 446		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち					
		節： 第3節 うるおい空間の形成					
		基本施策： 2. 景観形成					
		単位施策： (1) 景観形成の推進					
	根拠法令等	個別施策： ③公共空間における景観の向上					
対象・目的	半田市ふるさと景観条例に基づき、優れた景観の保全や形成を図り、市民にとって誇りと愛着のあるまちにする。						
目的を達成するための手段・活動内容	条例に基づく行為の届出に対して景観アドバイスをを行い、改善を促す。また、ふるさとの景観への関心を持ってもらうために、風景絵画&フォトコンテストを実施する。さらに、小学生を対象に、景観に対する意識を深め、景観づくりの大切さを学ぶことを目的として出前講座を開催する。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	R1年度	：単位	
		①景観条例に基づく届出受理	62	57	58	件	
		②景観アドバイス実施回数	88	118	87	件	
		③					
		事業費	2,364	2,129	3,576	千円	
		人件費	7,917	7,495	7,905	千円	
		総事業費	10,281	9,624	11,481	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	：単位	
		①景観アドバイス1件当たりのコスト	116,830	81,559	131,966	円	
	②						
	③						
	成 果	成果指標	29年度	30年度	R1年度	：単位	
		①出前講座の開催回数	実績値	2	2	2	回
			目標値	2	2	2	
		②景観アドバイスに基づく改善率	実績値	42.10	50.0	40.0	%
目標値			50.0	50.0	50.0		
③		実績値					
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	
	事業の 評価・課題	C					
		景観条例に基づく対象行為に対しアドバイスをを行い、良好な景観形成に努めたが、改善率が目標を達成できなかった。ふるさとの景観への関心を深め、愛着を育むため実施している風景絵画&フォトコンテストの作品展示をCLACITY及びMIM(MIMホール内)の他、キャナルナイト開催時に源兵衛橋の下遊歩道で「橋の下絵画展」として行い、作品に触れる機会の拡大に努めるとともに、小中学校等への個別PRにより応募者数の増加を図った。また、作品を活用し優れた風景を紹介した半田市PR冊子「はんだマニア」の作成、配布により市民の景観に対する意識を深めた。さらに、出前講座を亀崎小学校と岩滑小学校の2校(5クラス)で開催し、児童の景観に対する意識向上を図った。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	現状維持					
		景観アドバイザーによる助言指導が、良好な景観形成に反映されるよう、引き続き届出者に対し改善を求めていく。また、風景絵画&フォトコンテストの応募者を増やすためのPRを継続するとともに、景観に対する意識を深め、景観づくりの大切さを学んでもらうため、小学生を対象とした出前講座を継続して開催する。講座の内容は小学校の意見を取り入れ児童の理解度が深まるよう努める。					
	令和2年度の目標	成果指標	目標値		単位		
		①出前講座の理解率	目標値	93.0	%		
		②景観アドバイスに基づく改善率	目標値	50.0	%		
		目標値					